

骨粗しょう症の診断・治療を受けることができる市内医療機関

受診の際には、各医療機関へ必ず事前にお問い合わせ・ご相談ください。

(50音順)

医療機関名	電話番号	1.精密検査・治療		2.治療	医療機関名	電話番号	1.精密検査・治療		2.治療
		①	②				①	②	
秋谷病院	(42) 2125		○		のうみクリニック	(42) 7233			○
いいじまクリニック	(40) 5100		○		野口内科小児科医院	(42) 0123		○	
飯村医院	(42) 0206		○		東埼玉総合病院	(40) 1311	○		
石塚医院	(43) 7777			○	東内科小児科医院	(42) 0409		○	
いわさきハートクリニック	(44) 3810		○		堀中病院	(42) 2081	○		
久我クリニック	(40) 3105		○		益山クリニック	(40) 5511		○	
斎藤医院	(42) 9858		○		むさしのメディカルクリニック	(40) 6001	○		
さくら整形外科	(42) 0878		○		ワイズレディスクリニック	(44) 0555			○
高梨クリニック	(43) 5522		○		(平成 28 年 8 月現在 / 北葛北部医師会協力)				

1. 精密検査・治療実施医療機関

- ①日本骨粗鬆症学会のガイドラインで推奨された、微量なX線を当てて正確な骨密度を測定するDXA法により介護が必要となる原因となりやすい足の付け根や背骨の骨密度の状態を検査し、必要な治療を受けることができる医療機関
- ②DXA法により①以外の腕などの部位、または、超音波によりかかとの骨密度などの状態を検査し、必要な治療を受けることができる医療機関

2. 治療実施医療機関

骨粗しょう症について、必要な治療を受けることができる医療機関

がん検診はお済みですか？

～集団検診の日程も残りわずかとなりました～



生涯、がんになる確率は、男性は2人に1人、女性は3人に1人と言われ、医学の進歩により、早期発見・治療により治るがんも増えてきています。

ウェルス幸手で実施する集団検診の日程も残りわずかです。まだ検診を受けてない人は、この機会を逃さず、忘れずに受診しておきましょう。

- ・各種検診は、各項目につき、集団検診または個別検診(特定健診時の同時受診や、妊婦子宮頸がん検診を含む)のいずれか1回受診できます。
- ・職場などで検診の機会がある人は除きます。
- ・治療中の人は、医療機関にご相談ください。

申込み・問合せ 健康増進課 ☎(42) 8421・FAX(42) 2130

検診項目	内容	費用	対象者(平成28年4月1日現在)	日時
乳がん検診	視触診・マンモグラフィ(乳房X線) 40歳代(X線撮影2方向)	1,500円	40歳以上の偶数年齢の女性	【実施日】 1月11日(水) 2月3日(金) 2月23日(木) 【受付時間】 ① 12:30～13:00 ② 13:15～13:45 ※子宮頸がんのみの場合は②
	50歳以上(X線撮影1方向)	1,300円		
子宮頸がん検診	内診・視診・子宮頸部細胞診	900円	20～39歳の女性 40歳以上の偶数年齢の女性	
胃がん検診	胃部X線間接撮影(バリウム)	800円	40歳以上の人	【実施日】 1月25日(水) 【受付時間】 ① 8:00～8:20 ② 8:30～8:50 ③ 9:00～9:20 ④ 9:30～9:50 ⑤ 10:00～10:20 ⑥ 10:30～10:50 ※歯周疾患検診は、②～⑥の時間帯のみ
大腸がん検診	便潜血検査(2日分)	300円		
肺がん検診	胸部X線間接撮影 かく痰検査(該当者のみ)	300円 600円		
前立腺がん検診	血液検査	1,000円	50歳以上の男性	
肝炎ウイルス検診	血液検査	400円	39歳の人 過去に受診したことがない人	
歯周疾患検診	歯科健診・歯科保健指導	無料	40・45・50・55・60・65・70歳の人	

骨粗しょう症の早期診断・治療で骨折による寝たきりを予防しましょう！

問合せ 健康増進課 ☎(42) 8421・FAX(42) 2130

骨粗しょう症は、圧倒的に50歳以上の女性に多く、閉経による女性ホルモンの減少により骨がスカスカになり、骨折しやすくなる病気です。最初は自覚症状がありませんので、骨折して医療機関を受診して初めて見付かることが多い状況です。

「高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」の策定にあたり、平成26年度に実施した調査においても、市内における要支援・要介護認定者の「介護が必要となった主な原因」の1位は「骨折・転倒」でした。

気になるサインがある人、60歳以上の女性で一度も検査をしたことがない人は、積極的に医療機関に相談することをお勧めします。

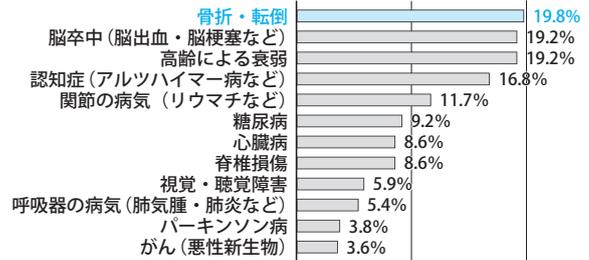
気になる3つのサイン

- 身長が縮んだ
- 腰や背中が丸くなった
- 腰や背中が痛い

※ほかにも、気になる症状があったら、必ず医療機関を受診しましょう。



幸手市における介護が必要となった主な原因



資料：平成26年度要支援・要介護認定者調査

▼**幸手市消防団**
幸手市消防団は昭和23年に幸手町消防団として「住民の生命、身体及び財産を、火災や地震、風水害などの災害から守る」という目的のために

▼**その必要性**
日本は災害大国と言われ、被災が広域になればなるほど地域の実情を良く知り、災害対応知識や動員力がある消防団が大きな力を発揮します。過去の災害でも、発災直後からさまざまな活動にあたり、市民の安全と安心の確保に大きく貢献してきました。

▼**消防団とは？**
消防署と同じように消防組織法に基づく消防機関であり、地域に住む市民のみならず構成される組織です。消防団員は、普段はそれぞれの仕事や学校などの日常生活を送っています。火災や地震、風水害などの災害時には、消火活動や市民の避難誘導、救助活動などを行います。

▼**主な活動**
各分団の管轄地域で建物火災などが発生した場合は、消火活動や、後方支援活動などを行います。

▼**災害時**
そのほか、地震や風水害などの大規模災害時には、住民の避難誘導や河川の水防など

▼**平常時**
消防団の活動は災害時だけではなくありません。災害時に確実に対応できるように、定期的に資機材の点検や訓練などを行っています。また、そのほかにも、夜警での火災予防活動や啓発活動など、多岐にわたり活躍しています。

問合せ 防災安全課
☎(43) 1111 内線582
FAX(43) 7656

幸手市消防団を
ご紹介します



水防団としての活動も行っています。

▼**消防団員を募集しています**
地域を守るためには、あなたの力が必要です。みなさんの熱い想いで、団員として大切な人や地域を守りませんか？入団資格は、「18歳以上で幸手市に在住または在勤の健康な人」です。ご興味がありましたら、ぜひ、一度防災安全課までご連絡ください。

▼**迅速・正確な消火活動のための訓練も行っています。**



迅速・正確な消火活動のための訓練も行っています。